



# 『聖隷国際教育研究』誌 第1号 創刊

昨年度発足した本学会も2年目を迎えます。初年度は期待を込めた目で見られましたが、2年目以降はその真価が問われるものと思っています。みなさまの期待にお応えできるように、またみなさまと共に学会活動をより一層充実できるように進めていく所存です。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

- さて昨年度末、本学会の『聖隷国際教育研究』誌第1号が創刊となりました。投稿されました論文や調査報告(査読あり)と実践報告(査読なし)は、以下の7本です。
- ①鈴木光男「こどもの感性と創造性を育む五感を通した美的経験によるアートプログラム～磐田市と特別支援学校でのシャッターアート事業報告」
  - ②杉山沙旺美「認定こども園の教育標準時間及びその終了後に対する保育者の意識に関する質問紙調査」
  - ③原田卓「教科横断の視点に立ったカリキュラム・デザインの一検証事例～国際バカロレア PYP 探究ユニットの実践から～」
  - ④首藤貴子「Agencyの育成を目指し～AIテキストマイニングとワードクラウドを用いた実践～」
  - ⑤友清和輝「心が交わる言葉」
  - ⑥原崇智「探究に関する実践報告-IB認定園における保育の振り返りから-」
  - ⑦山口権治「いじめ未然防止の視点と対応」
- \*①～③は査読付きの論文等で、④～⑦は査読なしの実践報告です。

準備が整い次第、学会ホームページに掲載します。また、聖隷クリストファー大学の図書館ホームページにあります「本学学術情報リポジトリ」にも掲載予定です。ご一読いただければ幸いです。

右:本学学術情報リポジトリ⇒



## 研究冊子・資料の公開

学会に関係する先生方の著作物や研究資料を学会ホームページに掲載しています。今現在は、以下の2誌を閲覧したり、ダウンロードしたりできます。ぜひご覧ください。

- ・中道充義『それが子どもにとって何なのか～「経験」を視点を教育を考える～』  
聖隷クリストファー大学教職センターで学生支援や指導に当たっていただいている元浜松市立与進小学校長 中道充義先生のご著書です。現場の先生方はもちろん、学生のみなさんにも読んでいただきたい一冊です。
- ・鈴木光男『カンボジアー日本 SHT-P 調査報告』  
JSPS 科研費 JP18K02554 に関する研究報告書・国際シンポジウム報告書です。S-HTP という家と木と人を描く描画調査法を用いてカンボジアと日本の子供たちの表現する絵について調べたものです。  
右:学会ホームページ⇒



## 学会費納入のお願い

・年会費の期間は4月から翌年3月までです。  
・年度途中から入会されましても期間に応じた割引はございません。  
・退会手続きをされない限り会員資格は年度ごとに自動継続となります。  
<お振込み先>  
金融機関名:遠州信用金庫 支店名:中川支店(店番:020)  
預金種目:普通 口座番号:0178045  
口座名:聖隷クリストファー大学国際教育学会 会計 杉山沙旺美  
※振込人名義は、会員のご氏名としてお振り込みください。それ以外の名義にてお振り込みの場合、事務局までその旨ご一報ください。  
※銀行振込の手数料は会員様にてご負担頂きますようお願い致します。  
※金融機関にて発行される振込控をもって、領収書の代わりとさせていただきます。別途、領収書が必要な場合は、事務局までご連絡ください。ご入金を確認後に発行いたします。  
<会費に関するお問い合わせ>  
聖隷クリストファー大学国際教育学会 事務局  
会計担当 杉山沙旺美 saomi-s@seirei.ac.jp

## 新規入会のおすすめ

保育や教育に関する実践研究は時代の変化に伴いめまぐるしく変わってきています。とりわけ発達支援や教育の国際化、また心理の問題などに関する教育界のニーズは高まる一方です。このような時代の中で、保育や教育に関する情報を収集・発信し、多くの実践家や研究者、卒業生、在校生と共に保育・教育の水準の向上に寄与することを目的としています。本学会では、保育・教育に関する知識及び指導方法を中心とした実践現場に即した調査・研究とその発表を通じ、学会員相互の研鑽・交流を促進していきます。

- 【年会費】
- 1. 学園個人会員 2,000円
  - 2. 一般個人会員 3,000円
  - 3. 本学学生会員 500円
  - 4. 法人会員 10,000円
  - 5. 本学教員会員 8,000円

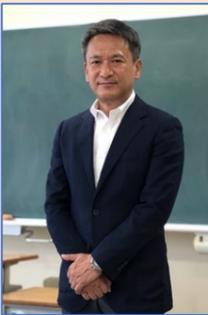
【学会入会申込】  
・お問い合わせ・

聖隷クリストファー大学  
鈴木光男 mitsuo-s@seirei.ac.jp

## 2024年度 事業計画

- ①学会年次大会(8月24日開催)  
\*学会総会や学会員・卒業生等交流会、シンポジウムを開催予定です。  
\*研究や実践報告などの口頭発表を募集します。ぜひ、学会事務局までお問合せください。  
\*記念講演会は以下のようなテーマ・内容です。詳細は別に記載します。  
講師:工藤勇一氏
- ②学会誌(2025年3月末刊行予定)  
\*原稿の種類は総説、論文、研究ノート、調査報告、資料、書評、実践報告、その他です。  
\*実践報告は査読無しですので、園や学校等での実践をそのままご報告いただけます。  
\*その他の論文や研究ノートなどは査読があります。
- ③その他  
\*研修会やワークショップ・交流会など企画します。随時、ご案内します。

## 工藤勇一 氏の 記念講演が決まりました!



上の事業計画でも記しましたとおり、8月24日(土)の本学会年次大会に工藤勇一氏をお招きいたします。『学校の「当たり前」をやめた。』(時事通信社)など多くのご著書やメディアへのご出演などにより、工藤氏の教育改革に向けたお考えに触れる機会は多くあります。とは言え、直接お話をうかがう機会は多くはありませんし、受ける熱量と刺激の度合いは相当なものと思います。詳細は決まり次第、学会通信やメール、SNSなどを通してお知らせいたします。ふるってご参加ください。テーマ「社会の変化とこれからの教育～主体性と当事者意識～」  
主な内容  
科学技術の進展や急激な人口減少という社会の変化に伴い、教育の目的の本質が真に問われる時代がやってきている。これまでの日本の教育がなぜ上手くいかないのかという理由とそれを改善するための方策について明らかにしていきたい。

- 略歴  
横浜創英中学・高等学校前校長(2020年4月～2024年3月)  
東京理科大学理学部応用数学科卒業、公立学校教員、東京都教育委員会、新宿区教育委員会教育指導課長、千代田区立麴町中学校校長(2014年4月～2020年3月)  
内閣官房 教育再生実行会議委員(2018年8月～2021年8月)  
内閣府 規制改革推進会議専門委員(2021年8月～)  
経済産業省 産業構造審議会臨時委員(2021年6月～)
- 主な著書
- 学校の「当たり前」をやめた。一生徒も教師も変わる!(時事通信社)
  - 麴町中学校の型破り校長 非常識な教え(SB新書)
  - 麴町中学校長が教える 子どもが生きる力をつけるために親ができること(かんき出版)
  - きみを強くする50のことば(かんき出版)
  - 学校の未来はここから始まる 学校を変える、本気の教育論議(共著 教育開発研究所)
  - 最新の脳研究でわかった!自律する子の育て方(共著 SB新書)
  - 学校ってなんだ!日本の教育はなぜ息苦しいのか(共著 講談社) 等々